



Journal Vol.10 Oct 23rd, 2026

～『自ら考え、判断し、行動できる生徒の育成』をめざして～

『開校記念講演会』と『第3回藤工 BLAZE 講演会』

を兼ねて 10/26 月に開催します！！！！

今回は、現在、関西テレビ（カンテレ）でドラマ制作に携わっている中林佳苗（なかばやし かなえ）先生をお招きし、ご自身の夢であった『ドラマ制作』を仕事にするまでの体験談などをお話しいただく予定です。

中林先生は、7月から9月にかけてフジテレビで放送されていた、SUPER EIGHT の横山裕さん主演ドラマ『今夜もシリアルキラーと待ち合わせ』でプロデューサーを務められました！現在も次のドラマ制作に向けてお仕事をされているそうですが、まだ公表できる時期ではないため、私にも教えられないとのことでした！（笑）

さて、私と中林さんとの出会いは、彼女が高校1年生のときにさかのぼります。当時、私は彼女が所属する学年の担任団の一員として関わり、英語の授業も担当していました。そして、高校2年生と3年生のときには、彼女のクラス担任として、さらに深く関わることになりました。当時の彼女は、バリバリのスポーツ少女というタイプでもありませんでしたが、バドミントンのシングルスで県ベスト8に入るなど、文武両道で頑張っていたことをよく覚えています！しかし、まさか将来、ドラマ制作の世界で活躍することになるとは、当時は想像すらしていませんでした！

8カンテレ



【10/26月】 藤岡工業高等学校 開校記念講演会 講師紹介！
（第2回『藤工 BLAZE for our well-being!』講演会）

関西テレビ放送株式会社 制作局 東京制作部
プロデューサー・監督・脚本

中林 佳苗（なかばやし かなえ）先生

演題：『藤工 BLAZE for our well-being!』

～自ら考え、判断し、行動してたら、ドラマづくりしちゃった！（仮）～

- ・群馬県前橋市出身。大学卒業後、関西テレビ放送株式会社に入社。
- ・番組制作部に所属し、『R-1 グランプリ』をはじめとするバラエティ番組で、アシスタントディレクター（AD）やディレクターを務める。入社4年目に東京へ異動し宣伝部に配属、その後5年目に東京コンテンツ事業部へ異動して、配信ドラマの制作に携わる。その後、6年目に東京制作部ドラマ班へ異動し、現在に至る。
- ・2022年、動画配信サービスHuluが開催した『第2回 Hulu U35 クリエイターズ・チャレンジ』に応募。自身が企画した『姉にヒュッグを教えたい』がファイナリスト5作品に選出され、製作費1,500万円の支援を受ける。脚本・監督を自身で務め、短編映画を制作、オーディエンス・アワード賞を受賞した。
- ・2026年7月1日（水）23時よりカンテレ・フジテレビ系『水ドラ★イレブン』枠の第1弾として放送開始予定の、SUPER EIGHT・横山 裕さん主演ドラマ『今夜もシリアルキラーと待ち合わせ』ではプロデューサーを務めている。人気漫画を実写化した作品として、大きな注目を集めている。
みなさんもぜひご覧ください！



高校卒業後、私の知らないところで彼女がどのような道を歩み、夢を実現してきたのか。そんなお話も聞けるかもしれませんので、私自身も今回の講演会をとても楽しみにしています！

実は、今年の夏休みには、中林さんのご厚意でドラマの撮影現場を見学させていただきました！かつての教え子がどのように仕事をしているのか、ぜひその姿を見てみたかったですし、何よりドラマ制作の現場そのものにも興味があったからです。

さらに、中林さんからの提案で、なんと私もエキストラとして通行人役を務めさせていただきました！（笑）オンエアされたのはわずか数秒間でしたが、その撮影には朝から夕方までかかりました！そんな貴重な体験を通して、ドラマ制作という『ものづくり』の大変さとおもしろさを、身をもって感じることができました！そして、撮影現場で私が最も驚いたのは、監督を中心とする制作スタッフと、演者である俳優の皆さんが、互いに遠慮することなく、意見をバチバチにぶつけ合いながら撮影を進めていたことです！朝から晩まで、数多くのシーンを撮影するなかで、一つ一つの場面にそれぞれの立場から徹底的にこだわり、よりよい作品をつくるために、白熱した意見を交わしていたのです！

その場で求められる瞬間的な判断力、自分の考えや意図を相手に伝える表現力、そして、互いの立場や考えを理解しながら、よりよいものを生み出していくコミュニケーション能力。そのすべてのレベルの高さに、私は圧倒されました！まさに『プロとプロ』の真剣勝負でした！そして、何より印象的だったのは、互いに意見が異なっているにもかかわらず、目指しているのは『よりよい作品をつくる』という共通のゴールであることです。それぞれが自分の専門性を発揮しながら、対話を重ね、一つ一つの作品をつくり上げていく。これは、工業高校で学ぶ皆さんにとっても、大いに参考になる『ものづくり』の姿ではないでしょうか。そんな現場で、中林さんは『プロデューサー』として、制作スタッフと俳優の皆さんの双方に関わりながら、縦横無尽に動き回っていらっしゃいました！かつての教え子が、プロフェッショナルとして活躍している姿を見ることができ、私にとっても本当にうれしい時間でした！

また、私が桐商に勤務していたときには、今回のドラマでチーフカメラマンを務められた山下さんとともに桐商にお越しいただき、『桐商ドキュメンタリー動画』を制作していただきました！実は、今回、中林さんには『藤工バージョン』の制作もお願いしています！こちらも実現を楽しみにしていますので、ぜひご期待ください！

最後に、藤工生の皆さんへ。今回の講演会でも、ぜひ積極的に質問してみてください！夢を実現するまでの道のり、仕事

チーフカメラマンの山下さんも別の機会にやってくるかも！



のやりがいや苦労、仲間と協力して一つのものをつくり上げるおもしろさなど、皆さんのこれからの人生につながるヒントが、きっとたくさんあるはずです。

そして、聞いたお話を単なる『すごい人の話』で終わらせるのではなく、『自分だったらどうするだろう？』『自分のこれからどう生かせるだろう？』と、自分事として考えてみてください！皆さんにとって、新たな可能性に気づくきっかけになることを期待しています！

校長 星野 亨

